

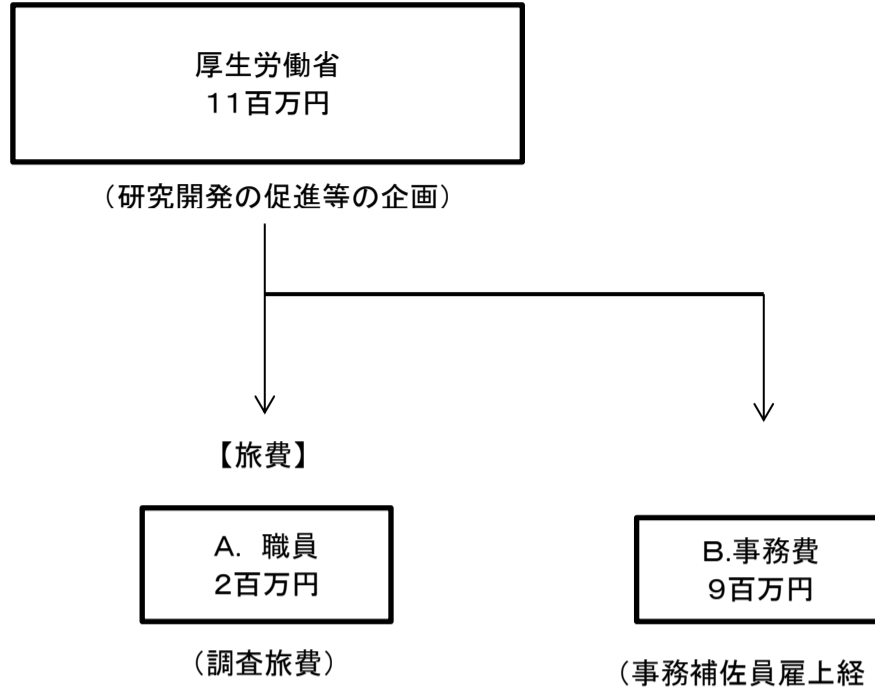
平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医薬品等研究開発動向等調査費	担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和63年度～	担当課室	研究開発振興課		課長:佐原康之		
会計区分	一般会計	施策名	IV-1-6 新医薬品・医療機器の創出等を促進するとともに、医薬品・医療機器産業の振興を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医薬品等の研究開発を促進するためには先進的な研究開発の動向を把握し、今後の施策の方向性を検討するほか、振興策が必要な各分野別の状況に応じて施策を実施する必要がある。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	先進的な研究開発の動向を文献、学会等との意見交換の場、視察等の機会を利用して把握し、振興策や必要な規制等の検討を行う。日本古来の漢方の原料となる薬用植物の栽培研究への支援、日本への導入が望まれながらも患者数が少ない等の理由により開発が進まない希少疾病医薬品等の開発を支援するために必要な情報の収集等を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	20	20	20	20	19
		補正予算					
		繰越し等					
		計	20	20	20	20	19
	執行額	16	19	11			
執行率(%)	80.0%	95.0%	55.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	施策の立案・検討を行う事業のため、定量的評価は困難であるが、医薬品等の研究開発の促進に繋がるものである。	成果実績		-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	施策の立案・検討を行う事業のため、定量的評価は困難であるが、医薬品等の研究開発の促進に繋がるものである。	活動実績 (当初見込み)		-	-	-	-
				(-)	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	-	算出根拠		-			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	1.7	1.5				
	職員旅費	1.8	1.8				
	委員等旅費	1.4	1.4				
	医薬品審査等業務庁費	14.8	14.6				
	計	19.7	19.3				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品の研究開発等は、広く国民からのニーズがあるものであることから、調査や情報収集を行うためにも優先度が高い事業である。 ・医薬品等の研究開発の促進のため、国の採るべき政策の検討、必要性が高いが患者数が少なく研究開発が進んでいない医薬品等の開発支援のための情報収集等について、国が実施すべきものである。 ・必要に応じて理由を把握するよう努めている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・予算の執行は、全て厚生労働省で直接行っており、事業目的に基づき適切に実施している。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・実績から見ても実効性の高い手段となっている。 ・施策の立案・検討を行う事業のため、定量的評価は困難であるが、医薬品等の研究開発の促進に繋がるものである。 ・調査や情報収集等の成果報告を受け、事業への反映に努めている。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>予算の執行は全て厚生労働省で直接執行しており、全ての支出先を把握している。 医薬品等の研究開発を促進するためには先進的な研究開発の動向を把握し、今後の施策の方向性を検討するほか、振興策が必要な各分野別の状況に応じて施策を実施する必要があるため、今後も適切な運用を心がけて事業を行っていく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>医薬品等研究開発動向等調査費については、先進的な研究開発の動向を把握、振興策や規制等の検討を行うための経費であり、必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	<p>医薬品等研究開発動向等調査費については、引き続き効率的な執行に努める。</p>		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	236	平成23年行政事業レビュー	0211

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.個人A			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	調査旅費	0.2			
計		0.2	計		0
B.個人A			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	事務補佐員雇い上げ	3			
計		3	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	調査旅費	0.2		
2	個人B	調査旅費	0.1		
3	個人C	調査旅費	0.1		
4	個人D	調査旅費	0.1		
5	個人E	調査旅費	0.1		
6	個人F	調査旅費	0.1		
7	個人G	調査旅費	0.1		
8	個人H	調査旅費	0.1		
9	個人I	調査旅費	0.1		

B.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	個人A	事務補佐員雇い上げ	3		
2	個人B	事務補佐員雇い上げ	3		
3	個人C	事務補佐員雇い上げ	3		